

掲載開始日：2020年2月20日

研究利用管理番号

1903003

研究内容の説明文

さい帯血提供者説明用課題名 (括弧内は申請課題名)	造血細胞移植用にならなかったさい帯血を用いた脳梗塞治療の検討 (造血細胞移植用にならない臍帯血の有効利用法の検討(脳血管再生治療法の開発))
研究期間(西暦)	2019年4月～2022年3月
研究機関名	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤部製剤開発課
研究責任者職氏名	製剤開発二係長 保井一太

研究の説明

1 研究の目的・意義・予測される研究の成果等

共同研究機関である神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センターがこれまでに実施した臨床研究で、回復が見込めない脳梗塞患者に対して自己の骨髄単核球を輸注することで、その症状が劇的に改善することが報告されています。本研究では、当施設において細胞数不足により造血細胞移植用にならなかったさい帯血を用い、脳梗塞治療の可能性を検討します。そのことにより、さい帯血の有効利用と、我が国の極めて深刻な社会問題の一つである脳梗塞による高齢身体障害者の急激な増加に関する問題の解決を目標とします。

2 使用するさい帯血等の種類・情報の項目

さい帯血等の種類：調製保存に至らないさい帯血

さい帯血等の情報：採取日時、液量

3 さい帯血等を使用する共同研究機関及びその研究責任者氏名

本研究機関に提供されたさい帯血等は共同研究機関で使用されません。

4 研究方法《さい帯血等の具体的な使用目的・使用方法含む》

さい帯血等のヒト遺伝子解析： 行いません。 行います。

《研究方法》

造血細胞移植に使用されないさい帯血を脳梗塞治療に用いた場合の安全性並びに有効性を検証します。血管内皮細胞にさい帯血から分取した単核球もしくは造血細胞(CD34陽性細胞)を添加し、血管内皮細胞の機能が回復することを生体外の実験系で確認します。また、GVHD(移植片対宿主病：移植に伴う合併症)を防ぐために、放射線をさい帯血に照射し、そのさい帯血による血管内皮細胞の回復も確認します。

5 さい帯血等の使用への同意の撤回または研究使用の停止について

研究に使用される前で、個人の特定ができる状態であれば同意の撤回及び研究使用の停止が出来ます。

6 上記5を受け付ける方法

近畿さい帯血バンクへさい帯血を提供され、同意の撤回もしくは研究利用の停止を希望される方は当さい帯血バンクまでご連絡下さい。

電話：06-6962-7056

本研究に関する問い合わせ先

所属	日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 製剤部製剤開発課
担当者	保井一太
電話	072-643-1797
Mail	kazuta-yasui@kk.bbc.jrc.or.jp